

欧州自動車産業ニュース

No. 922

2024年3月8日号

英新車登録、2月は14.0%増加 法人顧客が全体をけん引

シトロエン、2人乗り小型電気自動車「アミ」をドイツで発売

テスラの独工場、送電塔の放火で生産停止

ボッシュとマイクロソフトが提携、
生成AI活用し自動運転機能の安全性向上

© European Community

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

- 1.本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
- 2.本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

ドイツ乗用車新車登録、2月は5.4%増加.....	4
ドイツ国内生産、2月は2%減少	7
英新車登録、2月は14.0%増加	8

企業情報

自動車メーカー

シトロエン、2人乗り小型電気自動車「アミ」をドイツで発売.....	9
テスラの独工場、送電塔の放火で生産停止.....	9
ボルボ・カーの欧州モデル、業界初のコネクテッド安全機能を搭載	10
英JLR、消費電力の25%を再エネ由来のオフグリッド発電に	10

部品メーカー

オートノウム、商用車事業部門を新設	11
西ゲスタンプ、23年は8%の増益	11
独ノルマ、印メーカーの電動SUVに冷却システムを供給.....	12
SSAB、部品在庫の無いパーツを3D印刷で自作	12

クローズアップ

ZEAS	13
------------	----

欧州自動車短信

ボルボ・グループ、アウディ、ZFフリードリヒスハーフェン	14
------------------------------------	----

一般・その他

大企業の供給網監視義務化法案、加盟国の難色で棚上げに.....	15
EUが先端材料生産増強へ、欧州委が戦略発表.....	16
欧州議会が「自然再生法案」可決、規制は原案から大きく後退.....	16
EUがポーランドへの補助金凍結措置解除、政権交代による「法の支配」巡る問題解消で	17

テクノロジー・トレンド

ボッシュとマイクロソフトが提携、生成AIで自動運転機能の安全性向上	18
ブラックベリーとTTTech Auto、提携拡大	18

目で見える欧州自動車産業ニュース

フィンランド、新車登録台数:2023年.....	19～21
--------------------------	-------

企業名索引.....17

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

ドイツ乗用車新車登録、2月は5.4%増加

ドイツ連邦陸運局(KBA)は5日、同国の2024年2月の乗用車新車登録が21万7,388台となり、前年同月に比べ5.4%増加したと発表した。1～2月の累計は、前年同期比11.8%増の43万941台となった。なお、1～2月までの新車登録をコロナ前の2019年同期と比較すると、依然として約19%（約10万台）下回る水準となっている。

2月の顧客別の登録台数は、法人が前年同月比6.1%増の14万6,758台で、全体の67.5%を占めた。個人は、前年同月比4.0%増の7万373台で、市場シェアは32.4%だった。

ブランド別では、ドイツ勢は、ポルシェ（66.5%増）、スマート（42.4%増）、オペル（20.1%増）が2ケタの増加率だった。国外ブランドでは、セアト（45.0%増）、ボルボ（83.5%増）、起亜（24.5%増）、ダチア（22.1%増）、シュコダ（15.3%増）などが好調だった。

日本勢は、三菱自（263.4%増）、レクサス（63.9%増）、スバル（24.5%増）、スズキ（15.2%増）、トヨタ（14.0%増）、マツダ（9.3%増）が前年同月を上回った。日産（3.6%減）、ホンダ（1.2%減）は前年同月をやや下回った。

■ BEV、2月の市場シェアは11.6%

2024年2月の燃料別の登録台数は、純粋な電気自動車（BEV）が前年同月比15.4%減の2万7,479台で、市場シェアは12.6%だった。ハイブリッド車は、前年同月比17.6%増の6万9,367台で、市場シェアは31.9%、うち、プラグインハイブリッド車（PHEV）は、前年同月比22.3%増の1万4,575台で、市場シェアは6.7%だった。

ガソリン車は、前年同月比2.3%減の7万7,106台（市場シェア：35.5%）、ディーゼル車は、前年同月比9.7%増の4万2,153台（市場シェア：19.4%）だった。

ドイツの乗用車新車登録統計 2024年：燃料別						
	2月	市場シェア	前年同月比 伸び率(%)	1～2月	市場シェア	前年同期比 伸び率(%)
ガソリン	77106	35.5	2.3	158,830	36.9	9.3
ディーゼル	42153	19.4	9.7	83,089	19.3	7.0
液化石油ガス(LPG)	1249	0.6	48.9	3,148	0.7	65.1
天然ガス(CNG)	21	0.0	-80.9	35	0.0	-83.1
ハイブリッド	69367	31.9	17.6	135,863	31.5	23.8
うち、プラグインハイブリッド	14575	6.7	22.3	28,969	6.7	39.5
電気(BEV)	27479	12.6	-15.4	49,953	11.6	-1.3
水素	-	-	-	-	-	-

出所：連邦陸運局

（次頁に続く）

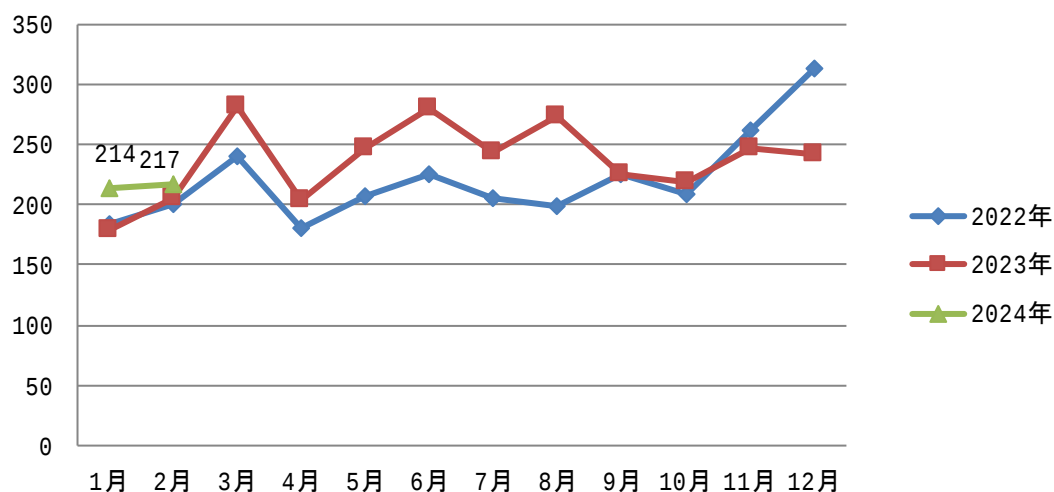
ドイツ、新車登録：2024年

	2月		1～2月	
	台数	前年同月比 伸び率(%)	台数	前年同期比 伸び率(%)
オートバイ	17565	3.5	24,651	-3.0
乗用車	217388	5.4	430,941	11.8
バス	510	25.3	1,102	27.1
トラック	26579	21.6	50,175	17.6
牽引車	7654	5.4	14,729	2.9
その他	1620	4.8	3,054	-7.6
合計	271316	6.7	524,652	11.1
被牽引車	21789	2.4	38,560	-3.0

出所：連邦陸運局

ドイツ、乗用車新車登録台数

単位：1,000台



※数値は2024年の登録台数

出所：連邦陸運局

ドイツの乗用車新車登録統計 2024年						
ブランド	2月			1～2月		
	登録台数	シェア(%)	前年同月比 伸び率(%)	登録台数	シェア(%)	前年同月比 伸び率(%)
アルファ・ロメオ	438	0.2	17.4	1,067	0.2	32.9
アルピーヌ	52	0	205.9	95	0.0	97.9
アストンマーチン	26	0	-18.8	51	0.0	-19.0
アウディ	14274	6.6	-21.9	29,713	6.9	-10.0
ベントレー	46	0	-14.8	109	0.0	-21.0
BMW	16096	7.4	8.1	32,183	7.5	23.6
BYD	94	0	1242.9	233	0.1	308.8
キャデラック	20	0	5.3	32	0.0	-48.4
シトロエン	3641	1.7	11.6	8,080	1.9	46.1
ダチア	5851	2.7	22.1	12,482	2.9	19.3
DS	199	0.1	74.6	419	0.1	117.1
フェラーリ	178	0.1	50.8	340	0.1	37.7
フィアット	5150	2.4	-9.7	9,650	2.2	-0.3
フィスカー	27	0	X	56	0.0	X
フォード	7699	3.5	-13.8	15,077	3.5	-11.9
長城汽車(GWM)	166	0.1	1560	256	0.1	2033.3
ホンダ	503	0.2	-1.2	987	0.2	-2.5
現代自動車	6998	3.2	0.4	13,499	3.1	3.5
イネオス	66	0	725	141	0.0	1310.0
イベコ	68	0	3	146	0.0	18.7
ジャガー	125	0.1	-50.8	446	0.1	-10.6
ジープ	936	0.4	23	2,083	0.5	46.6
起亜	5667	2.6	24.5	10,505	2.4	36.5
ラーダ	5	0	-86.1	7	0.0	-88.3
ランボルギーニ	108	0	20	225	0.1	46.1
ランチア	-	-	X	1	0.0	X
ランド・ローバー	1010	0.5	11.4	2,048	0.5	0.0
レクサス	236	0.1	63.9	615	0.1	120.4
ロータス	25	0	108.3	44	0	91.3
ルシード	4	0	33.3	6	0.0	20.0
リンク・アンド・コー(Lynk & Co)	2	0	-99.3	7	0.0	-99.0
MAN	105	0	-37.1	188	0.0	-35.2
マセラティ	32	0	-77.8	73	0.0	-75.3
マクス(MAXUS)	5	0	X	11	0.0	1000.0
マツダ	3313	1.5	9.3	6,192	1.4	-2.6
メルセデス・ベンツ	20070	9.2	-7.4	41,393	9.6	-4.0
MG Roewe	1986	0.9	49.3	2,882	0.7	59.0
MINI	2655	1.2	-10.8	4,813	1.1	5.3
三菱自動車	2555	1.2	263.4	4,903	1.1	257.6
モーガン	4	0	300	9	0.0	125.0
蔚来汽車(NIO)	27	0	107.7	54	0.0	285.7
日産	2372	1.1	-3.6	4,884	1.1	9.6
オベル	11571	5.3	20.1	24,202	5.6	42.7
ブジョー	4704	2.2	12.9	9,590	2.2	38.9
ポールスター	164	0.1	31.2	274	0.1	-1.8
ボルシェ	4296	2	66.5	8,094	1.9	43.6
ルノー	2575	1.2	-28.6	5,520	1.3	-23.1
ロールスロイス	27	0	-18.2	55	0.0	25.0
セアト	11761	5.4	45	21,831	5.1	59.4
シュコダ	15848	7.3	15.3	32,534	7.5	18.3
スマート	1205	0.6	42.4	2,385	0.6	51.7
双竜自動車(Ssangyong)	132	0.1	-31.6	290	0.1	-25.3
スバル	351	0.2	24.5	745	0.2	43.8
スズキ	2443	1.1	15.2	3,596	0.8	-8.5
テスラ	6038	2.8	-21.7	9,190	2.1	-23.1
トヨタ	6616	3	14	13,319	3.1	7.9
ビンファスト	13	0	X	14	0.0	X
ボルボ	5469	2.5	83.5	9,518	2.2	82.6
フォルクスワーゲン	40361	18.6	2.1	81,909	19.0	6.9
その他	980	0.5	-7.2	1,870	0.4	
合計	217388	100	5.4	430,941	100.0	11.8
出所: 連邦陸運局						

<AI21763>

ドイツ国内生産、2月は2%減少

独自動車工業会（VDA）によると、同国の2024年2月の乗用車生産は37万4,800台となり、前年同月に比べ2%減少した。1～2月の累計は、前年同期比5%減の67万4,900台だった。1～2月の生産台数は、コロナ前の2019年同期と比べると依然として17%下回っている。

輸出は、2月は前年同月並み（±0%）の27万7,700台。1～2月の累計は、前年同期比2%減の48万9,600台だった。1～2月の輸出を2019年同期と比べると約23%下回っている。

VDAによると、2月の国内受注は、前年同月に比べ20%増加した。これに対し、2月の国外受注は前年同月並みだった。総合すると2月の受注は前年同月に比べ3%増加している。1～2月の累計受注は前年同期比10%増だった。

ドイツ、生産・輸出台数：乗用車				
	2024年2月	前年同月比 伸び率(%)	2024年1～2月	前年同期比 伸び率(%)
生産台数	374,800	-2	674,900	-5
輸出台数	277,700	0	489,600	-2
出所：ドイツ自動車工業会（VDA）				

<AI21764>

Information Broker Service

私たちは情報を迅速に探し出すスペシャリストです

FBCでは長年の調査業務ノウハウを活用して
広範囲な情報検索サービスを提供しています



プレスリリース

特定テーマに関する各界の評価
政府の統計データ・公式見解など



情報検索

官報・広報・特許・学術文献
調査レポート・書籍など



問合せや訪問予約の
アレンジメント

産業団体・関係当局・専門家
各所への問い合わせなど

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせはFBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 info@fbc.de まで

英新車登録、2月は14.0%増加

英自動車工業会（SMMT）は5日、同国の2024年2月の乗用車新車登録が8万4,886台となり、前年同月に比べ14.0%増加したと発表した。販売増加は19カ月連続となる。顧客別では、大口法人が25.2%増、小口法人も15.5%増と好調で、全体をけん引した。個人向けは前年同月に比べ2.6%減少している。1～2月の累計は、前年同期比10.3%増の22万7,762台となった。

なお、2月は、ナンバープレートが切り替えられる3月の前の月となるため、一年の中でも新車登録が少ない傾向がある。

燃料別の2月の新車登録は、電気自動車（BEV）が前年同月比21.8%増の1万4,991台となり、市場シェアで17.7%を占めた。ハイブリッド車（HEV）は前年同月比12.1%増、プラグインハイブリッド車（PHEV）も前年同月に比べ29.1%増加している。ガソリン車は前年同月に比べ13.3%増加した。ディーゼル車は前年同月に比べ7.4%減少し、市場シェアは5.9%に縮小している。

英国、乗用車新車登録台数：顧客別 2024年					
2月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
個人	29,391	39.5%	28,630	33.7%	-2.6%
大口法人	43,738	58.8%	54,740	64.5%	25.2%
小口法人	1,312	1.8%	1,516	1.8%	15.5%
新車登録総数	74,441		84,886		14.0%
1～2月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
個人	89,030	43.1%	78,874	34.6%	-11.4%
大口法人	113,278	54.9%	145,055	63.7%	28.1%
小口法人	4,127	2.0%	3,833	1.7%	-7.1%
新車登録総数	206,435		227,762		10.3%
出所：英自動車工業会（SMMT）					

英国、乗用車新車登録台数：燃料別 2024年					
2月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
ディーゼル	5,397	7.3%	4,995	5.9%	-7.4%
ガソリン	42,378	56.9%	48,001	56.6%	13.3%
電気自動車（BEV）	12,310	16.5%	14,991	17.7%	21.8%
プラグインハイブリッド車（PHEV）	4,723	6.3%	6,098	7.2%	29.1%
ハイブリッド車（HEV）	9,633	12.9%	10,801	12.7%	12.1%
新車登録総数	74,441		84,886		14.0%
1～2月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
ディーゼル	15,796	7.7%	14,343	6.3%	-9.2%
ガソリン	118,591	57.4%	129,906	57.0%	9.5%
電気自動車（BEV）	29,607	14.3%	35,926	15.8%	21.3%
プラグインハイブリッド車（PHEV）	13,832	6.7%	18,042	7.9%	30.4%
ハイブリッド車（HEV）	28,609	13.9%	29,545	13.0%	3.3%
新車登録総数	206,435		227,762		10.3%
※ディーゼル、ガソリンにはマイルド・ハイブリッド車（MHEV）が含まれる					
出所：英自動車工業会（SMMT）					

<AI21765>

企業情報

■自動車メーカー■

シトロエン、2人乗り小型電気自動車「アミ」をドイツで発売

欧州自動車大手ステランティス傘下の仏シトロエンは3月6日、2人乗りの小型電気自動車（EV）シトロエン「アミ（Ami）」を今夏にドイツ市場に投入すると発表した。当該モデルは欧州ですでに4万8,000台を超える予約注文を確保しており、ドイツにも販路を広げる。なお、販売形式はオンライン販売のみとなっている。

「アミ」は、全長2.41m、幅1.39m、高さ1.52mの2人乗り小型車電気自動車で、最高速度は時速45km、航続距離は最大75km。ドイツでは運転免許証のカテゴリー「AM」を取得すれば15歳から運転することができる。

5.5kWhのリチウムイオン電池を搭載しており、220ボルトの家庭用電源から約3時間でフル充電することができる。



シトロエン「アミ（Ami）」
出所：Stellantis／Citroen

<AI21766>

テスラの独工場、送電塔の放火で生産停止

ドイツのブランデンブルク州で5日午前、送電用鉄塔への放火があり、米電気自動車メーカー、テスラのグリーンハイデ工場が生産停止に追い込まれた。周辺の一般世帯やその他の施設も停電の影響を受けており、検察当局は現在、捜査している。テスラは5日午後の会見で、来週初めに生産を再開できるかはまだ分からず、被害総額は数億ユーロに上る可能性があるとの見解を示している。

今回の放火を巡っては、エネルギーインフラへの攻撃を特徴とする左翼過激派「ヴルカン・グループ」が犯行声明を出しており、警察が信憑性を調査している。2021年にもテスラのグリーンハイデ工場の建設現場に電力を供給するインフラへの放火事件があり、同グループによる犯行が疑われている。

グリーンハイデ工場には現在、従業員約1万2,500人が勤務しており、1週間あたり6,000台を製造している。同工場には拡張計画があり、抗議デモが行われている。

<AI21767>

ボルボ・カーの欧州モデル、業界初のコネクテッド安全機能を搭載

スウェーデンの乗用車大手ボルボ・カーは2月29日、数百メートル先の事故をドライバーに警告するコネクテッド・セーフティ機能「アクシデント・アヘッド・アラート」をボルボ車に搭載すると発表した。交通情報当局などのリアルタイムデータをもとに、前方で発生した事故の情報をいち早くドライバーに知らせるもので、デンマークを皮切りに欧州市場向けのボルボ車に導入していく。自動車メーカーによる同種の安全機能の搭載はボルボ・カーが初めてとなる。

アクシデント・アヘッド・アラートはドライバーが事故情報を事前に入手することにより、衝突などの二次被害や渋滞を回避できるようにする。事故現場の位置データは各国の当局および走行中のボルボ車など対応車両からコネクテッド機能により提供される。また、欧州委員会が支援するモビリティデータ空間「Data For Road Safety (DFRS)」に参加するパートナーとも交通データを共有し、セーフティ機能に統合していく。

アクシデント・アヘッド・アラートはボルボの「90」、「60」、「40」シリーズの欧州モデルで利用できる。センターディスプレイにある「コネクテッド・セーフティ」機能を起動するだけで作動する。

<AI21768>

英 JLR、消費電力の 25%を再生エネ由来のオフグリッド発電に

英高級車メーカーのジャガー・ランドローバー (JLR) は1日、同社が国内で消費する電力の25%以上を再生可能エネルギー由来のオフグリッド発電で賄う計画を明らかにした。光熱費を削減し、地域の送電網への依存度を下げるのが目的。同社はグループ全体で電力需要の3分の1以上を自社の敷地 (オンサイト) や近接地 (ニアサイト) での再生エネ発電で賄うことを目指している。

同計画が想定するピーク時の発電量は約120メガワット (MW)。これは4万4,500世帯分の年間需要または完全電気自動車 (BEV) 「I-PACE」のバッテリー270万個を充電できる量に相当する。

計画の中核は太陽光発電で、既存設備との組み合わせにより自家発電能力が16%増加する。年内にゲイドン、ヘイルウッド、およびウルバーハンプトンに新設したEPMC (電気推進製造センター) の各拠点で工事に着手し、2026年末までの完了を見込む。一例では、EPMCは既存の屋上アレイの拡張により太陽光発電の容量が145%増加し、施設のエネルギー需要の37%にあたる18.9MWを発電できるようになる。

各拠点とも、電力供給の安定を確保するため地域の電力網との接続は維持する。

<AI21769>

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000~3,000ユーロから



■部品メーカー■

オートニウム、商用車事業部門を新設

スイスの自動車部品大手オートニウムは3月1日、新たに商用車事業部門を設立したと発表した。中・大型トラックおよび農業用車両の部品を供給する。当初は、既存の事業基盤のある欧州と南米での事業に注力し、並行して、将来のアジアと北米における事業展開の可能性を検討していく。

商用車部門の立ち上げの背景には、昨年4月にドイツの同業ボルガーズ・オートモーティブ(Borgers Automotive)を買収し、商用車分野の製品・技術の幅が大幅に広がったことがある。オートニウムはすでに、商用車向けの内装・外装部品をベルギー、ドイツ、フランス、ポーランド、チェコ、ブラジルの工場で生産している。当初は、既存の生産能力を活用して商用車事業を展開し、今後さらに事業を拡大していく方針を示している。

<AI21770>

西ゲスタンプ、23年は8%の増益

スペイン自動車部品大手のゲスタンプが2月27日発表した2023年通期決算の最終利益は2億8,100万ユーロとなり、前年の2億6,000万ユーロから8%増加した。売上高は14.4%増の122億7,400万ユーロ、営業利益(EBITDAベース)は13.4%増の13億7,100万ユーロと、大幅な増収増益を果たした。純有利子負債は8,700万ユーロ減少し、20億5,800万ユーロに改善した。

同社は声明で、「競合製品との差別化、顧客との密接な関係、地理的分散を通じたサプライチェーンの強靱化などにより、市場で優位なポジションを得ることができた」と強調した。今後について同社は、部品売上高の20%を占める電気自動車(EV)事業を長期的な成長の柱と位置付けるとともに、自動車業界の脱炭素化の潮流も踏まえ収益性の高い事業活動を展開していくとしている。

脱炭素化の分野では、英鉄鋼大手タタの自動車向け鋼材に使われるリサイクル材の割合を約2倍に引き上げることで合意したほか、スウェーデン鉄鋼大手のSSABとは化石燃料を使わないゼロカーボン鋼材を調達する契約を締結した。

2024年の業績見通しについては2億ユーロ以上のフリーキャッシュフローの確保を見込んでいる。

<AI21771>

経済活動に大きく影響する
EUの政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで
今のEUを知ろう

FBC

独ノルマ、印メーカーの電動 SUV に冷却システムを供給

ホースクランプ（ホースバンド）やケーブルタイ（結束バンド）を製造する独ノルマ・グループは2月28日、インドの自動車メーカーの完全電動 SUV 向けに冷却システムを受注したと発表した。インド西部のマハーラーシュトラ州のプネにある同社工場で生産し、同地にある顧客の工場に今年半ばから2030年にかけて約70万台分を供給する。取引額は明らかにされていない。

受注した冷却システムは、電動車専用プラットフォームに搭載されるパワーエレクトロニクスシステムの冷却用途に使われる。システムのゴムホースを樹脂部品に置き換える独自設計により、20～25%の軽量化と動作効率の向上を実現している。

ノルマは完全電気自動車（BEV）、ハイブリッド車（HV）、燃料電池車（FCV）、水素エンジン車からなるeモビリティ分野を今後の成長の柱に位置づけている。新車販売で世界3位のインドでは電動車の人気も高まっており、同社はラインナップを拡充して需要を取り込んでいく方針だ。

<AI21772>

SSAB、部品在庫の無いパーツを3D印刷で自作

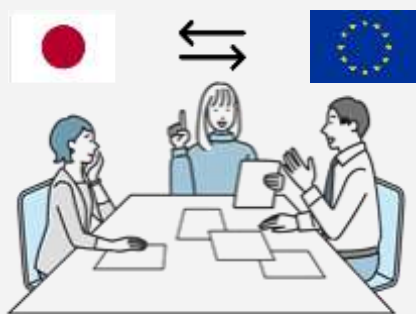
スウェーデン鉄鋼大手のSSABは3月1日、旧式のため部品在庫の無いパーツを3D印刷で製造する取り組みを紹介した。レーザー硬化技術を組み合わせることで期待以上の性能を発揮しているという。

ボルレンゲにある同社の製鋼所では、円筒形に巻き取ったコイル（鋼帯）の固縛用ストラップの端をロック（スタンピング）するための結束機（ストラッピングマシン）が古くなっており、サプライヤーにもスペアパーツが残っていなかった。このため同社は試験的に3Dプリンターを使って当該パーツ（スタンプ）を自作。加工前の段階の「ブランク」を出力した後、形状を加工し、摩耗面をレーザーで硬化して完成させた。

3D印刷には金属粉末「TS2」を用い、硬さと靱性の両方を備えた材料を生成した。レーザー硬化により以前のスタンプよりも寿命が3倍に伸び、製造コストも大幅に削減できたという。

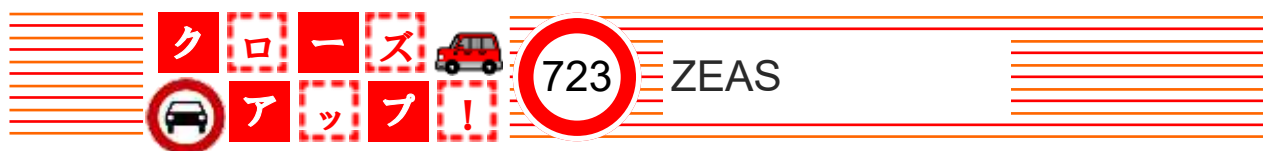
レーザー硬化はレーザービームのエネルギーにより加工対象の表面を加熱し、その後、周囲材料により急冷して硬さを得る。硬度を上げる必要がある表面のみを硬化するため、エネルギー消費が少なく、材料の歪みを最小限に抑えられる利点がある。

<AI21773>



駐在員事務所代行サービス

欧州に事務所がなくても、
FBCが新規取引先の開拓や連絡、
貿易事務を代行します



ZEAS

燃料電池を使用した海上輸送船を開発するプロジェクト。アドリア海における持続可能な気候中立の燃料を使用したフェリーを開発し、実証試験する計画。

実施期間は、2024年1月1日～2027年12月31日まで。プロジェクト予算は約1,890万ユーロで、うち欧州連合（EU）は約1,350万ユーロを資金支援している。

船舶向けの燃料電池システムなどを開発するノルウェーの TECO 2030 は、駆動システム用の1.2メガワットの燃料電池を供給する。EUの補助金のうち、TECO 2030は、230万ユーロを受給する。

当該プロジェクトでは、船舶の設計・建造、水素インフラ（供給、貯蔵、補給）の開発、認証基準への準拠を確認するための海上での実証試験運行を計画している。

環境への影響も重視しており、排出評価、環境パフォーマンスの研究、リスク・安全評価も行う予定。また、監視、制御、シミュレーション、予知保全ソリューションとしてデジタルツインの開発も計画している。

プロジェクトのパートナーは下記の通り：

LURSEN DESIGN CENTER KVARNER D.O.O（クロアチア）（調整役）

- GITONE KVARNER D.O.O.（クロアチア）
- MARITIME CENTER OF EXCELLENCE D.O.O（クロアチア）
- JADROLINIJA, DRUSTVO ZA LINIJSKI POMORSKI PRIJEVOZ PUTNIKA ITERETA（クロアチア）
- SVEUCILISTE U RIJECI, POMORSKI FAKULTET（クロアチア）
- DNV HELLAS SINGLE MEMBER SA（ギリシャ）
- HYCENTA RESEARCH GMBH（オーストリア）
- TECNO AMBIENTE SL（スペイン）
- SCAN PROJEKT DOO（クロアチア）
- ケムニッツ工科大学（ドイツ）
- ZENLAB RACUNALNISCHE STORITVE IN SVETOVANJE DOO（スロベニア）
- HRVATSKA UDRUGA ZA VODIK（クロアチア）
- TECO 2030 ASA（ノルウェー）

欧州自動車短信

■ スウェーデンの商用車大手 **ボルボ・グループ** は 2 月 27 日、同社傘下のベンチャーキャピタル会社が、建設業界における次世代技術の新興企業に投資する米ベンチャーキャピタルファンド、ザクア・ベンチャーズ（以下、ザクア）に投資したと発表した。ザクアは、2022 年の設立。建設業界の脱炭素化に寄与する新技術を開発する新興企業に重点を置いており、生産性、持続可能性、都市化の 3 つの主要テーマの少なくとも一つに関連する技術を開発する企業に投資している。ボルボ・グループは、ザクアとの協力により、建設業界の有力な新興企業に早期にアクセスできるようになる。ザクアは、世界で建設関連の企業約 20 社と協力関係を構築しており、ボルボ・グループが新たに加わった。

■ 独自動車大手の **アウディ** は 3 月 5 日、ドイツのフランクフルトに 6 カ所目となる「チャージング・ハブ」を開設すると発表した。最大出力 320kW の充電設備が 4 基あり、あらゆるブランドの電動車が利用することができる。充電ケーブルは、特許出願中の回転アーム式で、軽くて扱いやすいため、車いすのドライバーが片手で車いすを操作しながら、もう一方の手で充電することができる。フランクフルトのチャージング・ハブは、クラシックカーの展示や飲食スペースなどがある「クラシックシュタット」に隣接している。当該ハブでは、1 年あたり延べ約 5,000 回の充電利用があると見込んでいる。



出所：Audi

■ 独自動車部品大手の **ZF フリードリヒスハーフェン** は 2 月 29 日、チェコのクラーシュテレツ工場の約 1 年半の改築工事を終え、同社初のゼロエミッション工場として開設したと発表した。合計で約 3,400 の太陽光発電モジュールを屋根などに設置しており、工場の年間電力需要の約 20%を太陽光発電で賄う。残り 80%は、風力や水力発電による再生可能エネルギーを活用する。暖房にも化石燃料は使用しておらず、従来のガス暖房設備をヒートポンプに替えた。同工場は 1992 年の設立で、現在は約 700 人の従業員が勤務している。パワーエレクトロニクス部品を生産しており、当該部品は、ドイツやセルビアの ZF 工場生産する電気モーターに組み込まれている。

<AI21774>

一般・その他

大企業の供給網監視義務化法案、加盟国の難色で棚上げに

欧州連合（EU）域内で活動する企業に対して、サプライチェーン（供給網）で人権、環境問題が生じていないかどうかを監視することを義務付ける法案が、暗礁に乗り上げた。企業に大きなしわ寄せが及ぶとして難色を示す国が多いため、6月の欧州議会選挙が終わるまで棚上げとなりそうだ。

「企業サステナビリティ・デューデリジェンス指令」と称される同法案は、強制労働、児童労働といった人権問題や、環境汚染などが企業活動で生じるのを防ぐのが狙い。企業に責任を負わせ、取引関係がある世界中のサプライヤーが違反していないか監視させるという内容だ。違反した企業は、世界の売上高の最大5%に相当する罰金が科せられる。

対象となるEU企業は、従業員が500人以上で、全世界での売上高が1億5,000万ユーロ以上の大企業。EUで活動する域外企業も、域内での売上高が3億ユーロ以上であれば、指令施行から3年後に適用される。

アパレル、林業、食品・飲料、製造業、鉱業など人権、環境問題への影響が大きい業種に関しては、同250人以上、4,000万ユーロ以上であれば対象に含まれる。

欧州委員会が2022年2月に発表した法案をめぐっては、企業の規制対応の負担が増すとして反対する国が当初から多かった。このため、金融サービスはエコシステム（融資先）の監視に関しては適用除外となり、自社が人権、環境問題に対応していれば済むようにするといった修正案がまとめられ、23年12月にEU加盟国と欧州議会が合意。加盟国と欧州議会がそれぞれ承認し、成立となる運びとなっていた。

しかし、加盟国が2月28日に開いたEU大使級会合では、ドイツが企業寄りの姿勢で知られる自由民主党（FDP）の猛反発で採決を棄権。このほか、すでに反対していたスウェーデン、オーストリア、フィンランドなどに加え、イタリアも棄権に回った。フランスは大企業とみなす際の従業員、売上高に関する最低基準を大幅に引き上げ、対象となる企業を縮小する妥協案を採決直前に提案し、ドイツとイタリアに妥協を迫ったが、受け入れられなかった。

採決は加盟国の人口に応じて票数を割り当てる特定多数決制度が採用され、承認を取り付けるためには加盟国の55%（15カ国）以上が賛成し、しかも賛成国の人口がEU人口の65%以上を占める必要があった。大国のドイツ、イタリアを含む10数カ国が棄権したため承認には至らず、欧州議会側の採決を前に法案がとん挫した。

EU議長国ベルギーは、加盟国の懸念に対応した修正の可能性を数カ月以内に探るとしているが、調整は難しい見込み。27年の発効を目指しているが、欧州議会選までの成立はほぼ不可能な情勢で、ずれ込みが必至だ。

<AI21775>

EU が先端材料生産増強へ、欧州委が戦略発表

欧州委員会は2月27日、欧州連合（EU）域内で先端材料の生産を増強するための戦略を発表した。脱炭素化やデジタル分野に必要な材料の生産、研究開発をEUレベルで後押しし、世界の最先端に立てるようにする。

対象となるのはエネルギー、電子、建設、自動車分野などのイノベーション（技術革新）で必要となる先端材料。EUの研究開発を支援する枠組み「ホライズン・ヨーロッパ」に基づき、2025～27年に民間企業と共同で5億ユーロを投資し、生産・開発を推進する。

欧州委は重要な先端材料の例として、◇スマートフォンやパソコン、テレビなどに用いられるシート状物質のグラフェン◇太陽光発電パネルに使われる金属ナノ粒子◇電気自動車などに使われるナトリウムイオン電池◇建材などに使われる熱変色性マイクロカプセル顔料◇電子機器やスマートフォン、タブレット端末などスマートデバイスに使われるエラストマー（ゴム弾性を有する工業用材料）などを挙げている。

<AI21776>

欧州議会が「自然再生法案」可決、規制は原案から大きく後退

欧州議会は2月27日に開いた本会議で、欧州連合（EU）域内の自然生態系の回復と保護を目的とした「自然再生法案」を可決した。ただ、環境規制に対する農家の反発を考慮し、原案から大きく後退した内容となった。

同法案はEUが2050年までに欧州が世界に先駆けて気候中立を実現することや、生物多様性の向上を図る包括的な成長戦略「欧州グリーンディール」の柱のひとつ。欧州委員会が22年6月に発表した。

開発によって損なわれた自然を再生させ、劣化した生態系の持続的な回復を可能にして、EUの気候変動目標や生物多様性戦略の実現につなげることを目的としている。30年までにEU域内の陸地および海域の少なくとも20%を自然の状態に戻すという目標を掲げ、加盟国に必要な対策を講じることを義務付けるのが柱だ。

同案をめぐっては、域内の農家が猛反発している。農業保護を重視する欧州議会の最大会派である中道右派の欧州人民党（EPP）グループも、域内の農業と食料安全保障を脅かすなどとして難色を示し、一時は廃案の危機に追い込まれた。

EU加盟国と欧州議会は23年11月、泥炭地保全の目標を低めに設定するなど大幅に修正した案で合意。欧州議会はこれを承認した。焦点の20%を自然の状態に戻すという目標は維持されるものの、加盟国が柔軟に対応できるようにするなど特例措置が盛り込まれ、規制内容は原案から大幅に後退した。

それでも、今回の採決ではEPPグループは反対票を投じ、賛成329、反対275、棄権24と大きく分かれた。同法案は加盟国による承認を経て正式成立となる。

<AI21777>

EU がポーランドへの補助金凍結措置解除、政権交代による「法の支配」巡る問題解消で

欧州委員会は2月29日、ポーランドに対する欧州連合（EU）の補助金交付を凍結する措置を解除すると発表した。問題となっていた「法の支配」が同国の政権交代で進むと判断した。これによってポーランドは最大1,370億ユーロを受け取ることができる。

ポーランドでは2015年の総選挙で愛国主義的な色彩の強い「法と正義」が政権を掌握して以来、違憲判決を出すのが難しくなるよう憲法裁判所の仕組みを変えたり、最高裁判事の人事権を政府が掌握するための法改正を行うなど、政権による司法介入を強める制度改革が進められてきた。

これに対してEUは、ポーランドの司法改革がEUの基本理念である法の支配に反するとして、補助金を凍結していた。

しかし、昨年12月に親EU派のトゥスク氏が首相に就任し、法の支配の順守に向けた改革に着手したことから、凍結解除を決めた。

ポーランドが受け取るのは、新型コロナウイルス禍で打撃を受けた経済の立て直しを支援する復興基金（正式名称：次世代EU）と、経済発展が遅れている国を支援する結束基金からの補助金。復興基金では返済不要の補助金と融資を合わせて598億ユーロが交付される。第1弾として近く63億ユーロが支払われる見込みだ。

結束基金では21～27年のポーランド向けの補助金（総額最大765億ユーロ）を受け取ることができる。

<AI21778>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁	
Audi	14	Norma Group.....12
Autoneum.....	11	SSAB.....12
BlackBerry.....	18	Tesla.....9
Bosch	18	TTTech Auto.....18
Citroen	9	Volvo Cars.....10
Gestamp	11	Volvo Group.....14
Jaguar Land Rover	10	ZF Friedrichshafen.....14
Microsoft.....	18	



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

ボッシュとマイクロソフトが提携、生成 AI で自動運転機能の安全性向上

独自動車部品大手のボッシュは 2 月 28 日、米マイクロソフトと提携し、生成 AI を活用した自動運転機能の安全性向上に取り組むと発表した。

生成 AI により、車両が状況を判断し、適切に対応することで、道路利用者の安全がさらに高まると見込んでいる。例えば、生成 AI を活用したドライバーへの警告表示や、ハザードランプを点灯させながらのブレーキ操作などの可能性がある。

両社はすでに、自動車とクラウドをシームレスに接続するためのソフトウェアプラットフォームの開発で提携している。

<AI21779>

ブラックベリーと TTTech Auto、提携拡大

車載 OS (基本ソフト)「QNX」を手掛けるカナダのブラックベリーは 3 月 7 日、オーストリアの IT エンジニアリング会社ティーティーテック・グループ (TTTech) 傘下の TTTech Auto との提携を拡大すると発表した。両社の協力により、ソフトウェア定義車両 (SDV) の開発における複雑性が増している課題に対応する。

具体的には、ブラックベリーの最新の車載 OS「QNX 8.0」と TTTech Auto のスケジューリング・ソリューションを組み合わせた製品により、先進運転支援システム (ADAS) などの複雑で正確な作動が求められる環境で基盤となる半導体をより適切に利用できるようになる。スケジューリング・アルゴリズムの活用により、設計フェーズの簡素化、テスト労力の軽減、構成変更の簡易化、などの利点がある。

両社は 2022 年 6 月に最初の提携を発表した。最初の提携を通してすでに、ブラックベリーのリアルタイム OS (RTOS) である「QNX Neutrino」と TTTech Auto の安全車両ソフトウェアプラットフォーム「MotionWise」を統合した製品を生産している。

<AI21780>

経済活動に大きく影響する
EU の政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで
今の EU を知ろう



目で見える欧州自動車産業ニュース

フィンランド、新車登録台数：2023 年

フィンランド新車登録台数 2023年						
	2022年12月	2023年12月	変動率(%)	2022年1～12月	2023年1～12月	変動率(%)
乗用車	6,187	5,800	-6.3	81,700	87,508	7.1
キャンピングカー	45	50	11.1	1,446	1,394	-3.6
一般乗用車	6,142	5,750	-6.4	80,254	86,114	7.3
バン	1,061	860	-18.9	11,193	11,023	-1.5
トラック	285	248	-13.0	3,341	3,949	18.2
バス	83	16	-80.7	417	249	-40.3
合計	7,616	6,924	-9.1	96,651	102,729	6.3
出所: Autoalan Tiedotuskeskus; フィンランド統計局/フィンランド運輸安全局 (TRAFI)						

フィンランド乗用車新車登録台数 2023年 メーカー別 TOP30						
順位	メーカー	2022年 1～12月	市場シェア (%)	2023年 1～12月	市場シェア (%)	変動率 (%)
1	トヨタ	14,466	18.0	14,268	16.6	-1.4
2	シュコダ	6,755	8.4	8,821	10.2	30.6
3	フォルクスワーゲン	7,122	8.9	7,637	8.9	7.2
4	ボルボ	6,705	8.4	7,288	8.5	8.7
5	起亜	6,903	8.6	6,605	7.7	-4.3
6	テスラモーターズ	1,689	2.1	6,139	7.1	263.5
7	メルセデスベンツ	5,107	6.4	5,371	6.2	5.2
8	BMW	4,894	6.1	4,974	5.8	1.6
9	アウディ	2,732	3.4	3,537	4.1	29.5
10	日産	2,937	3.7	2,640	3.1	-10.1
11	現代自動車	2,095	2.6	2,445	2.8	16.7
12	フォード	3,441	4.3	2,443	2.8	-29.0
13	プジョー	2,050	2.6	2,438	2.8	18.9
14	オペル	2,396	3.0	1,904	2.2	-20.5
15	シトロエン	1,591	2.0	1,241	1.4	-22.0
16	マツダ	745	0.9	1,106	1.3	48.5
17	ポールスター	895	1.1	947	1.1	5.8
18	ダチア	1,236	1.5	797	0.9	-35.5
19	ルノー	1,524	1.9	731	0.8	-52.0
20	スズキ	741	0.9	697	0.8	-5.9
21	三菱自	895	1.1	593	0.7	-33.7
22	クブラ	438	0.5	584	0.7	33.3
23	ランドローバー	311	0.4	480	0.6	54.3
24	レクサス	257	0.3	401	0.5	56.0
25	セアト	398	0.5	379	0.4	-4.8
26	スバル	257	0.3	271	0.3	5.4
27	ボルシェ	385	0.5	238	0.3	-38.2
28	MINI	207	0.3	203	0.2	-1.9
28	ホンダ	280	0.3	201	0.2	-28.2
30	フィアット	273	0.3	179	0.2	-34.4
その他		529	0.7	556	0.6	5.1
小計		80,254	100.0	86,114	100.0	7.3
キャンピングカー		1,446		1,394		-3.6
乗用車総計		81,700		87,508		7.1
出所: Autoalan Tiedotuskeskus; フィンランド統計局/フィンランド運輸安全局 (TRAFI)						

フィンランド乗用車新車登録台数 2023年 モデル別 TOP30

順位	ブランド・モデル	2022年 1～12月	市場シェア (%)	2023年 1～12月	市場シェア (%)	変動率 (%)
1	トヨタ「カローラ」	4,669	5.8	5,105	5.9	9.3
2	テスラモーターズ「モデルY」	1,143	1.4	4,904	5.7	329.0
3	シュコダ「オクタビア」	2,001	2.5	2,600	3.0	29.9
4	シュコダ「エンヤック」	1,163	1.4	2,474	2.9	112.7
5	ボルボ「XC60」	2,002	2.5	2,376	2.8	18.7
6	トヨタ「ヤリス」	3,144	3.9	2,265	2.6	-28.0
7	ボルボ「XC40」	1,709	2.1	2,081	2.4	21.8
8	トヨタ「ヤリス クロス」	1,787	2.2	2,068	2.4	15.7
9	トヨタ「RAV4」	2,249.0	2.8	1,765	2.0	-21.5
10	フォルクスワーゲン「ID.4」	881	1.1	1,764	2.0	100.2
11	BMW「i4」	651	0.8	1,524	1.8	134.1
12	起亜「シード」	1,892	2.4	1,520	1.8	-19.7
13	プジョー「2008」	576	0.7	1,497	1.7	159.9
14	トヨタ「C-HR」	1,673.0	2.1	1,365	1.6	-18.4
15	日産「キャシュカイ」	1,720.0	2.1	1,299	1.5	-24.5
16	アウディ「Q4」	438	0.5	1,251	1.5	185.6
17	ボルボ「C40」	596	0.7	1,097	1.3	84.1
18	テスラモーターズ「モデル3」	375	0.5	1,041	1.2	177.6
19	ボルボ「V60」	1,252	1.6	999	1.2	-20.2
20	ポールスター「2」	893	1.1	947	1.1	6.0
21	起亜「ストニック」	759	0.9	873	1.0	15.0
22	起亜「ニロ」	946	1.2	869	1.0	-8.1
23	フォルクスワーゲン「ティグアン」	664	0.8	859	1.0	29.4
24	フォルクスワーゲン「ゴルフ」	1,048.0	1.3	847	1.0	-19.2
25	シュコダ「スぺルブ」	633	0.8	837	1.0	32.2
26	シュコダ「カミック」	738	0.9	832	1.0	12.7
27	フォルクスワーゲン「ID.3」	341	0.4	827	1.0	142.5
28	起亜「リオ」	810	1.0	785	0.9	-3.1
29	起亜「スポーテージ」	723	0.9	773	0.9	6.9
30	フォード「クーガ」	789	1.0	762	0.9	-3.4
小計		38,265	47.7	48,206	56.0	26.0
その他		41,989	52.3	37,908	44.0	-9.7
合計		80,254	100.0	86,114	100.0	7.3
キャンピングカー		1,446		1,394		-3.6
乗用車総計		81,700		87,508		7.1

出所: Autoalan Tiedotuskeskus; フィンランド統計局/フィンランド運輸安全局 (TRAFI)

フィンランド新車登録台数 2023年 バン上位10メーカー

順位	メーカー	2022年 1～12月	市場シェア (%)	2023年 1～12月	市場シェア (%)	変動率 (%)
1	フォード	2,252	20.1	2,394	21.7	6.3
2	フォルクスワーゲン	1,759	15.7	2,295	20.8	30.5
3	トヨタ	1,511	13.5	1,567	14.2	3.7
4	メルセデスベンツ	1,936	17.3	1,507	13.7	-22.2
5	シトロエン	717	6.4	870	7.9	21.3
6	ルノー	1,140	10.2	800	7.3	-29.8
7	プジョー	485	4.3	502	4.6	3.5
8	オペル	408	3.6	376	3.4	-7.8
9	日産	105	0.9	213	1.9	102.9
10	フィアット	255	2.3	133	1.2	-47.8
小計		10,568	94.4	10,657	96.7	0.8
その他		625	5.6	366	3.3	-41.4
総計		11,193	100.0	11,023	100.0	-1.5

出所: Autoalan Tiedotuskeskus; フィンランド統計局/フィンランド運輸安全局 (TRAFI)

フィンランド新車登録台数 2023年 トラック上位10メーカー

順位	メーカー	2022年 1～12月	市場シェア (%)	2023年 1～12月	市場シェア (%)	変動率 (%)
1	ボルボ	1,057	31.6	1,209	30.6	14.4
2	スカニア	753	22.5	909	23.0	20.7
3	メルセデスベンツ	572	17.1	786	19.9	37.4
4	フォード	174	5.2	246	6.2	41.4
5	イベコ	144	4.3	133	3.4	-7.6
6	DAF	108	3.2	114	2.9	5.6
7	トヨタ・トラックマスターズ	105	3.1	103	2.6	-1.9
8	MAN	80	2.4	94	2.4	17.5
9	ルノー	101	3.0	75	1.9	-25.7
10	シス (Sisu)	23	0.7	44	1.1	91.3
小計		3,117	93.3	3,713	94.0	19.1
その他		224	6.7	236	6.0	5.4
総計		3,341	100.0	3,949	100.0	18.2

出所: Autoalan Tiedotuskeskus; フィンランド統計局/フィンランド運輸安全局 (TRAFI)

フィンランド新車登録台数 2023年 バス上位10メーカー

順位	メーカー	2022年 1～12月	市場シェア (%)	2023年 1～12月	市場シェア (%)	変動率 (%)
1	宇通 (Yutong)	88	21.1	70	28.1	-20.5
2	メルセデスベンツ	54	12.9	60	24.1	11.1
3	ボルボ	93	22.3	40	16.1	-57.0
4	アルタス (Altas)	10	2.4	15	6.0	50.0
5	イベコ	1	0.2	10	4.0	900.0
6	ポールスター	1	0.2	7	2.8	600.0
7	Avebus	-	-	6	2.4	-
7	VDL	5	1.2	6	2.4	20.0
8	メルセデスベンツ-Automet	18	4.3	5	2.0	-72.2
8	スカニア	20	4.8	5	2.0	-75.0
9	フォード	9	2.2	4	1.6	-55.6
9	K-Bus D.O.O. (Slo)	6	1.4	4	1.6	-33.3
10	Feniksbuss	-	-	3	1.2	-
小計		305	73.1	235	94.4	-23.0
その他		112	26.9	14	5.6	-87.5
総計		417	100.0	249	100.0	-40.3

出所: Autoalan Tiedotuskeskus; フィンランド統計局/フィンランド運輸安全局 (TRAFI)

<AI21781>